



# 市制施行30周年記念 郷土芸能大会



- とき 昭和63年11月3日(木) 10:00~16:00
- ところ 西之表市民体育館
- 主催 西之表市教育委員会  
西之表市無形民俗文化財保存連絡協議会  
西之表市スポーツ少年団

## プログラム

- |    |         |          |             |
|----|---------|----------|-------------|
| 1. | 開会のあいさつ | 西之表市長    | 10:00~      |
| 2. | 郷土芸能発表  | 1~9      | 10:10~12:00 |
| 3. | 昼食      |          | 12:00~12:30 |
| 4. | 郷土芸能発表  | 10~19    | 12:30~15:50 |
| 5. | 閉会のあいさつ | 保存連絡協議会長 | ~16:00      |

## 郷土芸能紹介

<b>1</b>	<p><b>種子島鉄砲太鼓</b></p> <p>種子島鉄砲太鼓保存会 出演者数 2名</p>	<p>今から約18年前(1970年)島の若者によって作曲され、西南の役当時の火縄銃による戦いの様子を表現したものであります。演奏は非常に激しく、全体力、全神経を注ぐ勇壮なものです。</p>
<b>2</b>	<p><b>棒踊</b></p> <p>古田中学校 出演者数 20名</p>	<p>古田の棒踊りは、日置郡から安城に移住後古田に住むようになった上妻次郎(故人)が、大正10年頃当時青年会員の上妻静馬氏等に教えたものである。6人1組、4人が6尺棒、2人が3尺鎌を持って踊る。昭和54年から古田中男子生徒によって、毎年古田の獅子舞と共に公開されている。</p>
<b>3</b>	<p><b>おつや口説き</b></p> <p>立山スポーツ少年団 出演者数 20名</p>	<p>今から800年前、源氏の武将の娘「おつや」が、父の仇討ちを果たした物語りを歌詞・踊りにしたものである。立山には、平家を追って南下した源氏の祖先をまつた清和神社がある。</p>
<b>4</b>	<p><b>棒踊</b></p> <p>田之脇子供会 出演者数 23名</p>	<p>この棒踊りは岳之田から伝わったといわれる。岳之田に明治18年山川より6戸20人が移住している。薩摩半島の各地に古くから棒踊り・鎌踊りが伝わっているので、その流れを汲むものと思われる。6人1組で、2人が6尺、4人が3尺の棒で激しく打ち合う。</p>



5	シンチ節 伊関スポーツ少年団 出演者数 40名	この踊りは、明治の末から大正時代にかけて、長崎出身の源吾という人が伊関柳原の前野家に寄せたものである。大山神社の大祭にこの踊りを披露している。
6	棒踊 安城中学校 出演者数 44名	いつ頃安城大野に伝わったか判明しないが、昔から大野で踊られていた。8人1組であるが前半は4人が1組になり棒を打ち合う。安城中学校では、昭和48年から毎年運動会で全生徒が参加して踊る。
7	ドスコイ 洲之崎スポーツ少年団 出演者数 9名	慶応年間に伊勢の人が洲之崎に寄留した時に教えたもので、慈遠寺境内でこれを踊った。明治末期集団赤痢流行の際、除災を祈って奉納した。別名は「相撲とり節」ともいわれる。
8	なぎなた踊 安城スポーツ少年団 出演者数 20名	この踊りは、別名「男(団?)七口説」ともいい、奥州仙台の百姓与太郎の娘みやぎとしのぶ姉妹が、斬殺された父の仇討を果す顛末を、歌とセリフで綴ったものである。 安城大野には、50年位前、薬行商人が伝えたといわれる。
9	鎌踊 田之脇子供会 出演者数 23名	田之脇の鎌踊りは棒踊りとともに岳之田から伝わったものといわれる。1組6名で構成しており、4人が6尺棒、中の2人が鎌を持ち、激しいテンポで打ち合います。4年前に復活し、現和中学校の体育大会や文化祭、風本神社の大祭でも披露している。
10	めん踊 めん踊保存会 出演者数 50名 (県指定無形文化財)	泥の面型に、和紙を重ねて貼った独特の面を被り、滑稽に踊る。腰にひょうたんをさげることから、ひょうたん踊りとも呼ばれる。島内数箇所分布していたこの踊りも、他では見るできなくなった。
11	棒踊 久保田棒踊保存会 出演者数 27名	明治19年坊津から久保田に移住した茅野乙吉氏の実兄、若松栄吉氏(川辺郡知覧町)が、久保田に寄留の若者に教えた、勇壮な棒踊りである。
12	ドスコイ 洲之崎ドスコイ保存会 出演者数 15名	別名を「相撲とり節」というこの踊りは、道楽としてにぎやかな三味線の調子にのって、オッサをかついで踊る様は浦々に残されているハンヤ節でもあろうか?

13	<p><b>源太郎踊</b> 住吉源太郎踊保存会 出演者数 50名 (市指定無形文化財)</p>	<p>いつ頃誰によって伝えられたか判明しないが、種子島に古くから伝わる踊りで、住吉から島内各地に伝わったという説もある。歌詞は7節、それぞれ隊形・リズム等に変化に富み、それぞれに趣きがある。種子島の代表的な大踊りである。</p>
14	<p><b>横山盆踊</b> 横山盆踊保存会 出演者数 40名 (県指定無形文化財)</p>	<p>寛永5年(今から360年前)横山に遠島になった、高岡地頭比志島国隆(島津家家老)と殉職した阿久根千代女を偲び供養するため、毎年7月7日に横山神社でこの踊りが踊られる。古い盆踊りの伝承をふまえている。</p>
15	<p><b>獅子舞</b> 古田獅子舞保存会 出演者数 23名 (市指定無形文化財)</p>	<p>明治末期、大分県より移住した、川野、石井両氏によって古田に伝えられた。獅子と天狗が猿を従え激しい争いを演じる。歌詞はなく、大太鼓・小太鼓・手作りの横笛で、県下でも珍しい芸能である。</p>
16	<p><b>安納棒踊</b> 安納棒踊保存会 出演者数 24名 (市指定無形文化財)</p>	<p>明治のはじめ、加治木住人・石野政蔵氏によって伝えられた。示現流の流れを汲むものといわれている。</p>
17	<p><b>花踊</b> 寺ノ門花踊保存会 出演者数 13名 (市指定無形文化財)</p>	<p>今から約600年位前、浦田に上陸した都の落人が、都の思い出をこの踊りに託して伝えたものといわれているゆるやかなテンポで優雅な踊り。</p>
18	<p><b>源太郎踊</b> 深川源太郎踊保存会 出演者数 50名</p>	<p>地区によって多少異なるが、源太郎踊りは、長者殿・山口くんだり、音に聞く・土佐から・心づくし(めでし)・近江の国・うぐいす(上は山)の7節からなるが、深川は8節である。それぞれにリズムや隊形の変化に注目したい。毎年運動会で、住吉中の生徒全員で踊った事もある。</p>
19	<p><b>種子島大踊</b> 種子島大踊保存会 出演者数 35名 (県指定無形文化財)</p>	<p>今から400年位前、種子島公が京都から関西地方の踊りを家来に習わせて伝えられたともいわれている。一つの踊りが、寄せ・出端・本踊・崩し・引端の五つからなり、八つの踊りを保存。昭和56年東京で開催された全国民俗芸能大会にも出演した。</p>

市制施行30周年記念事業

# 郷土芸能大会

出演種目ナレーション

日時 昭和63年11月3日(木)

場所 西之表市民体育館

種子島開発総合センター

## タンバラ

伊関スポーツ少年団による「タンバラ踊り」です。  
この踊りは、昔、オランダの貿易船が伊関浜脇に来航したとき、身振り手振りチンプンカンプンながら、意思が通じたことから、いつのまにかタンバラ踊りと言われるようになりました。

伊関スポーツ少年団は昭和46年に剣道スポーツ少年団として発足しましたが、現在では、ソフトボール、バレーボールをはじめ文化活動、奉仕活動、交通安全活動等に関する7分野の活動に励んでおり、現在、団員も40名を数えます。

では、タンバラ踊り、総大将の口上から始めます。

## おつや口説き

次は、立山スポーツ少年団が、なぎなたを使って演じます、「おつや口説き」です。

この踊りは今から800年前、源平の合戦で源氏の武将、石山氏の娘おつやが5年前の父の仇討ちを果たして、京都丹波にくだる口説きを踊りにしたものです。

立山には平家を追って南下した源氏の祖先をまつる清和神社も有ります。  
3年前、昭和60年西之表市スポーツ少年団の交換大会が立山で開かれた時、この踊りを披露しましたが、その後も鉄砲まつりや、中種子町でも披露の機会がありました。

立山小学校は西之表から24キロ、全校児童数20名。  
本日は3年生以上12名全員が演じます。  
おつや口説き、それではお願いします。

## 棒踊り

次は田之脇子供会による「棒踊」をごらん頂きます。  
田之脇の棒踊りは西之表岳之田から伝わりました。

岳之田は、山川からの移住者が多く、薩摩半島に古くから踊られている棒踊りが、その土地に再び根をはったものといえます。

6人1組で2人が6尺棒、4人が3尺棒で激しい打ち合いをします。昨年からは現和中学校の文化祭や体育大会でも、全校生徒で出演しております。田之脇子供会は、小、中学生合わせて28名ですが、本日は田之脇の高校生も3名参加しております。



## 源太郎踊

次はプログラム13番、源太郎踊です。  
歌詞に、山口くだりの源太郎よとあるところから源太郎踊というようになりま

した。  
この踊りは、古くから住吉に伝わった踊りで、住吉源太郎とも呼ばれる位、種子島では住吉が本家本元と言われています。

この住吉源太郎踊りが西之表市無形民俗文化財ですが、それだけに芸の貫禄も充分です。

本日は50名出演の大踊りです。去る10月22日の住吉神社の願成就でも公開しました。

源太郎踊は7節の歌詞があつて、それぞれ、リズム、隊形の変化等1つ1つに妙味を持っています。では、皆さんにもその妙味を味わっていただきましょう。

## 棒踊

次はプログラム11番久保田の棒踊りです。

国上の久保田は百年余り前、明治19年川辺郡防之津からの移住者が殆どです茅野重吉氏もその1人でしたが、実兄若松栄吉氏が当時の若者に教えた棒踊です。

本日は各地の棒踊りの出演をお願いしておりますが、皆様ご覧のように歌詞や唄は大体同じですが踊りは勇壮活発な中にもそれぞれ味があります。

では、久保田の棒踊りの出端です。

唄は茅野正男さんと中村守さんです。先頭の棒つきは平石時也さんです。

## 種子島鉄砲太鼓

日本の文明開化の歴史は、種子島の鉄砲伝来からといっても過言ではないでしょう。

本日の郷土芸能の開幕にふさわしい種子島鉄砲太鼓をご覧いただきましょう。曲は西南の役当時の火縄銃による戦闘を表現したものです。演奏は東町、中野忠さんと中野光晴さんです。それでは兄弟の息の合ったところをおねがいします。

種子島鉄砲太鼓、中野さん兄弟の熱演でした。どうもありがとうございました

## なぎなた踊

プログラム8番なぎなた踊りです。

この踊りは「団七口説き」という口説きものです。種子島には先程立山スポーツ少年団が演じた「おつや口説き」の他「甚平口説き」「清佐口説き」「おくめ口説き」等があります。

「団七口説き」は、奥州仙台の百姓、与太郎の娘みやぎとしのぶ姉妹が斬殺された父の仇討ちを果たす顛末です。

なぎなたを持って踊る口説きの多くは仇討ちものです。

安城スポーツ少年団が50年位前から伝わっているなぎなた踊りに挑戦します。ご声援ください。ではお願いします。

## ドスコイ

この踊りは慶応年間に伊勢の人が洲之崎に寄留した時に教えたもので、慈遠寺境内、今の八坂神社のある所で踊りました。また明治末期、集団赤痢が流行した折にも除災を祈って奉納しました。

別名、相撲とり節。

このドスコイに登場するのは洲之崎スポーツ少年団です。

この少年団は昭和47年35名で結成。市内で最も長い伝統をもつ少年団です。最初はソフトボール活動から忍耐力や礼儀を身につけ、今では地域の清掃作業奉仕も行なっております。

今年から郷土芸能にも挑戦しました。

どうぞ、ご声援ください。

## 棒踊

次は棒踊です。

この棒踊りはいつ頃安城に伝わったか判明しないくらい古くから安城大野で踊られていたようです。先程の古田の棒踊は安城から伝わったものですがこの踊りは地元でいう八人打ちと四人打ちです。今度は、安城中学校生徒全員で演じます。

毎年運動会でも全校生徒で発表しております。

もう15年以上も継続しています。

指導者は河原とおるさんです。

それではお願いします。

## 棒踊

次は古田の棒踊りです。

これは、日置郡から安城へ伝わり、それから古田に住むようになった上妻次郎が今から70年前に古田の青年会員に教えたものです。

6人一組みで踊る棒踊りですが、4人が6尺棒、2人が3尺鎌をもって激しい打ち合いを演じます。10年前から学校の運動会や願成就等で獅子舞いと一緒に発表しております。

では棒踊を古田中学校男子生徒全員にお願いします。

本日は古田の高校生も参加しております。

唄は岩元悟さんと上妻守さんです。

## シンチ節

次はシンチ節を伊関スポーツ少年団40名の皆さんにお願いします。

この踊りは、明治の末から大正時代にかけて、長崎の源吾という人が柳原で教えたものです。

柳原では最初この踊りを3人で踊ったことから地元ではシンチ節のことを3人踊りともよびます。

伊関では記念祭や大山神社の大祭にも、この踊りを奉納したことがありました。本日は、去る10月23日、この体育館でタンバラを披露した伊関スポーツ少年団がアラサイ、コラサイ、とシンチ節への挑戦です。

唄は下江一郎さんとむかい豊さんです。



## 獅子舞い

この獅子舞いは明治末期大分県より古田に移住した川野幸太郎、石井又蔵の両氏が中心になって古田に定着させたもので、古田では大正3年以来一年も欠かすことなく古田の豊受神社に奉納してきました。現在大分県にも残っておりますが、古田の獅子舞いは古田化したもので、市指定無形民俗文化財です。

本日の獅子は前、上別縄誠さん、後、竹内せいじさん、天狗、松下あきひろさん、太鼓、橋口清広さん、下島豊美さん、その他の皆さんです。それでは、横笛の楽にのって獅子舞いの登場です。

## 安納棒踊

プログラム16番安納棒踊です。

本日は棒踊だけでも古田、田之脇、安城、久保田とご覧頂きましたが、棒踊の最後は昭和42年に市指定無形民俗文化財になった安納棒踊です。明治の始め加治木の石野政蔵氏によって伝えられ示現流の流れを汲むものと言われています。

ではお願いします。

6尺棒4人、鎌2人の6人1組みです。唄は平原新一郎さんです。

## 花踊り

プログラム17番花踊です。

この花踊は、今から約600年位前、国上浦田に上陸した都の落人が都の思い出をこの踊りに託したものといわれ、ゆるやかなテンポで優雅な踊りです。一昨年、南日本放送のスタジオに招かれ、テレビ放送がありました。本日の多くは、その時の皆さんです。

それではお願いします。

## 種子島大踊

この大踊は、今から400年位前、種子島公が京都から関西地方の踊りを家来に習わせ伝えたとも言われております。

1つの踊りが、寄せ、出端、本踊り、崩し、引端の5つからなり、武部では8つの踊りが保存されています。本日は時間の都合で、6節目の佐渡と越後をご覧いただきます。

昭和56年、東京で開催された「全国民俗芸能大会」にも出演しました。

では本日の最後を飾って県指定無形民俗文化財種子島大踊を現和武部の皆さんにお願い致します。

## 横山盆踊り

この踊りは、今から360年前、上西横山に遠島にた日向高岡の地頭、比志島国隆に殉死した阿久根千代女を偲び、供養するため毎年踊られるものです。古い盆踊りの祖形が残されている貴重な芸能で、県指定無形文化財です。県民俗芸能大会にも出場しました。

カムキという白覆面で踊りますが、これは祖霊に直接息がかからないための気遣いとも言われております。

では、横山盆踊りの出場です。

太鼓は横山の八元清さんです。この太鼓を打って60年、もちろん市制10周年の時、わかさ公園で披露したのも、この八元さんでした。

一方今年初めて踊る青年のみなさんも参加し、横の和、踊りの輪も広がってきました。

この盆踊りは静かな中にも荘重な踊りで、人の胸を打つものがあります。

ではお願いします。

## めん踊り

プログラム10番めん踊りです。

「めん踊りは文字どおり面をかぶって踊りますが、その面がまた手作りでユニークです。

瓢箪を下げるところから「ひょうたん踊り」と言われたり、歌詞の金山をとって「金山節」ともいわれましたが、現在深川だけに保存され県指定無形民俗文化財です。鹿児島市吉野公園でおこなわれた県民俗芸能大会でも好評を博しました。

それは総勢50名からなるめん踊りの出端からごらん下さい。

## なぎなた踊

プログラム8番なぎなた踊りです。

この踊りは「団七口説き」という口説きものです。種子島には先程立山スポーツ少年団が演じました「おつや口説き」の他「甚平口説き」「清佐口説き」「おくめ口説き」等があります。

「団七口説き」は、奥州仙台の百姓、与太郎の娘みやぎとしのぶ姉妹が斬殺された父の仇討ちを果たす顛末です。

なぎなたを持って踊る口説きの多くは仇討ちものです。

安城スポーツ少年団が50年位前から伝わっているなぎなた踊りに挑戦しますのでご声援ください。ではお願いします。

## 鎌踊り

プログラム9番鎌踊りです。

先程棒踊りを発表した田之脇子供会の皆さんが、今度は鎌踊りをします。

6人一組みで、外の4人が6尺棒、中の2人が鎌を持って激しく打ち合います。4年前に復活しました。現和中学校の体育大会や文化祭、また風本神社の大祭等でも発表しております。

では、おねがいします。